

反省・準備不足の施設

学校法人帯広葵学園

理事長 上野敏郎

平成26年、知人の紹介でモンゴルの移動式住居「ゲル」を購入する機会に恵まれた。それまで「ゲル」はテレビで見えることはあっても、直接目にするとはなかった。以前から、園の外に絵本とのふれあいの場をつくりたいと思っていた計画が実現できると考え購入を決意したのだ。

「ゲル」の購入を決定した後、その設置を「帯広の森幼稚園」にお願いする手順が良くなかった。結果として、設置の主旨が十分に伝えることができなかったのである。だから、いわゆる「盛り上がり」と「理解」に欠けたのだ。

ボタンの掛け違いだ。移動式住居「ゲル」の設置はそう難しいとは考えなかったことにある。キャンプのテント張りとは段違いだった現場は相当苦労していた。帯広競馬場と同じ「ゲル」があり、その見学もし、実際に設置指導も受けたのだがそううまくはいかなかったのである。

さて、相当苦労してやっと出来上がった「ゲル」も、入口が園舎から見えない位置であったことから修正するが、風の影響もあり管理に難しさを抱えることになるのだ。

このように悪戦苦闘で始まった「ゲル」の設置となったために、その活用をどうするかまでは頭が回らないというのが正直な話となる。

よって、ただ？の展示物でしばらくはがまんするしか無かった。そんな状況にあった時に、その「ゲル」が心無い者の仕業によって見るも無残な姿に変容することになったのだ。「泣きっ面にハチ」とはこのことをいうのだろうか。

しかし、よく考えてみれば、しっかり話し合いをせずに持ち込んだ企画がこのような現実を招いたとも言える訳で提案者の本人は反省しなければならぬのである。「ゲル」には責任はありません。

十勝毎日新聞



○…帯広の森幼稚園
(秋葉正昭園長、園児230人)の敷地内に設置さ

れているモンゴルの移動式住居「ゲル」で7日、一部、固定用の縄がほどかれ、防水シートなどが崩れ落ちているのが見つかった。

○…このゲルは子供たちに楽しんでもらおうと、昨年12月にモンゴルから購入した。円形で直径4.5m、高さ2.3m。板など各部を縄で縛って組み合わせ、布、毛布、防水シートを順に重ねて造られている。何者かによって縄がほどかれ、7日朝は防水シートが落ち、毛布がめくれている状態だった。



○…幼稚園側は修復作業を行うとともに、地域に対しても丁寧に使うよう呼び掛ける予定。「子供たちが楽しみにしている場所。二度とこのようなことがないことを願っています」と秋葉園長＝写真。園児の笑顔、地域で守ろう。

(平成27年5月8日 十勝毎日新聞)



学校法人 帯広葵学園

〒080-0022

帯広市西12条南17丁目3 難波ビル2F

TEL 0155-23-7604 / FAX 0155-67-5778

URL <http://www.obihiraoai.ed.jp>


帯広の森幼稚園



つづじが丘幼稚園



緑陽台認定こども園



012 青い鳥保育園



柳町保育園



012 おびもり



あおいキッズランド



あおいキッズハウス



あおいとり



東土狩保育所・南中保育所・西中保育所